

中央教育審議会「令和の日本型学校教育」を担う
教師の在り方特別部会基本問題小委員会

学部と教職大学院との連携・接続の推進
～横浜国立大学教職大学院の取組事例～

横浜国立大学教職大学院

横浜国立大学の教育学部と教職大学院の 接続を促す改組

学部

- 平成29年度 教育人間科学部
⇒ 教育学部（学校教育課程）改組
- 令和3年度 教育学部（学校教育課程）
⇒ 教育学部（学校教員養成課程）改組
3コース制の導入（定員200名）
より協働性を重視
学内からの進学者
がリーダー的存在
となる

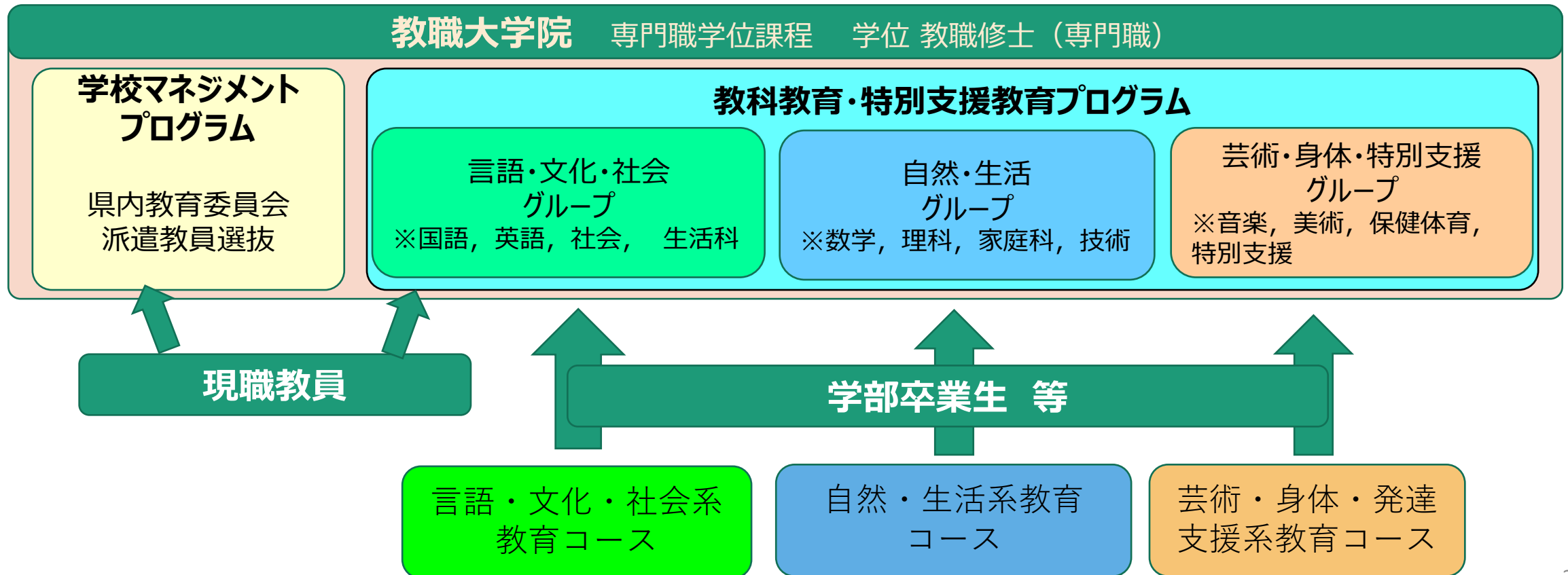
教職大学院

- 平成29年度 大学院教育学研究科高度教職実践専攻 開設（定員15名）
（派遣教員を中心とした短期履修がメイン）
- 令和3年度 大学院教育学研究科高度教職実践専攻 改組（定員60名）
 - 学校マネジメントプログラム
 - 教科教育・特別支援教育プログラム
 - ⇒ 3グループ制の導入
- 附属学校教員特別プログラム

教育学研究科の組織改編と教職大学院

主体性と協働性 (学部コースからグループへ)

イノベーティブな教育理論
や実践の開発には協働性が
不可欠

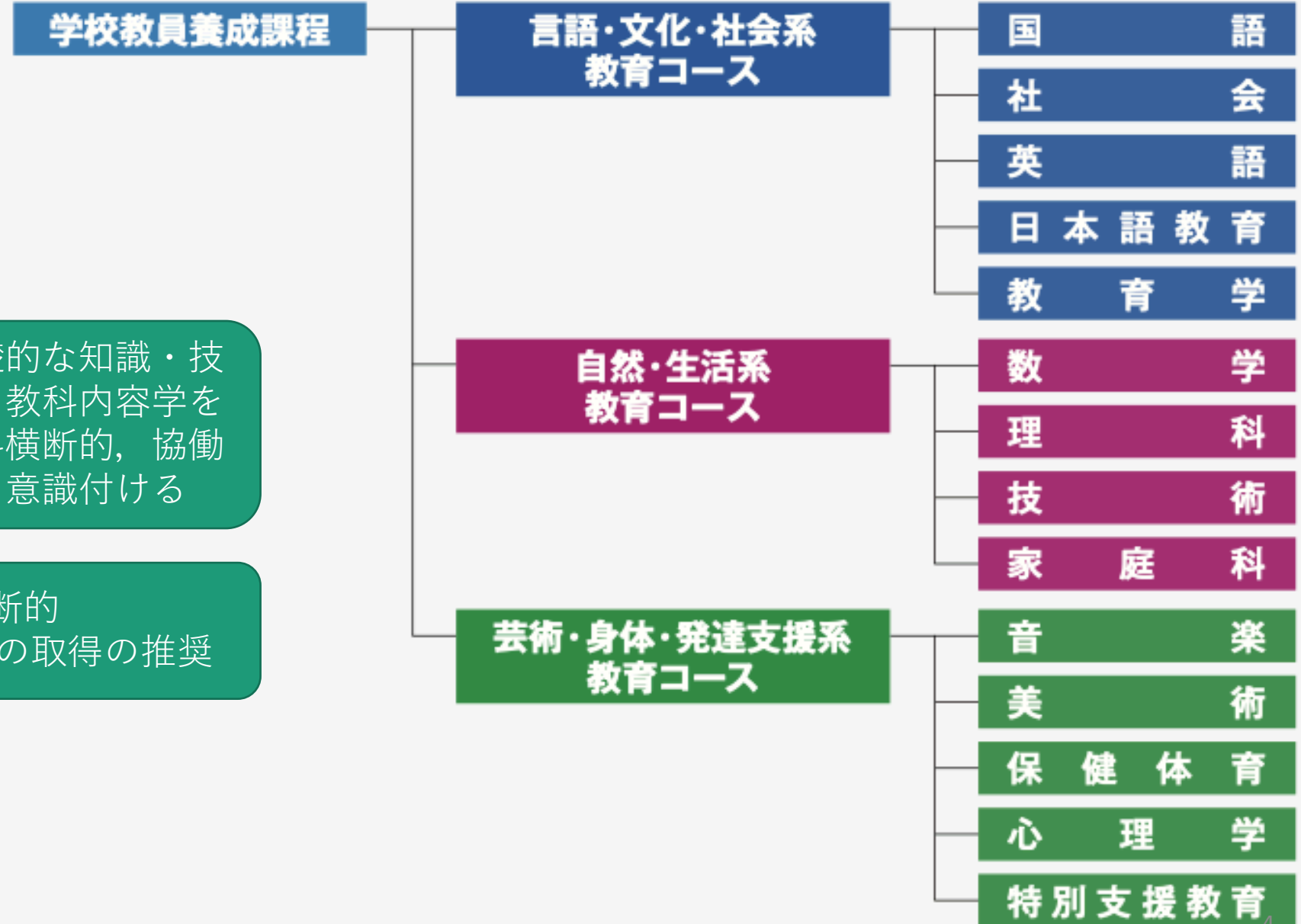


教育学部 学校教員養成課程の編成

学部のコース編成

教員としての基礎的な知識・技能を教科教育学，教科内容学を中核に深め，教科横断的，協働的に学ぶことを意識付ける

教科横断的
→副免許（2種）の取得の推奨



教職カリキュラム概要



1年次から学校に出かけて実践力を磨きます。

小・中学校等で子供たちと接し授業を行うことで、教育という営みの奥深さ・難しさ・やりがいを実感します。小学校での教育実習を基礎として、コースによって中学校や特別支援学校での教育実習を履修します。



教職入門 (春学期)
なぜ教育するのか、教師は何をするのか等をテーマに、教師という職業について考えます。

教育実地研究 (秋学期)
現場体験と大学における振り返りによって教育という営みの実際に触れ、教職について考えます。

介護等体験
社会福祉施設等での体験 5日間
特別支援学校での体験 2日間

2年次
初等教科教育法
中等教科教育法

3年次
中等教科教育法
特別支援学校教育実習
特別支援教育コースは3年次春学期(9月の2週間)、他コースでは4年次に実施

4年次
教職実践演習 (秋学期)
4年間の授業科目の履修や教育実習、学外学習等を振り返り、教員としての資質・能力が形成されているかどうかを省察します。
※複数回の学校参観・体験活動を含む。

卒業
または
教育学研究科
卒業後、教育学研究科に進学することもできます

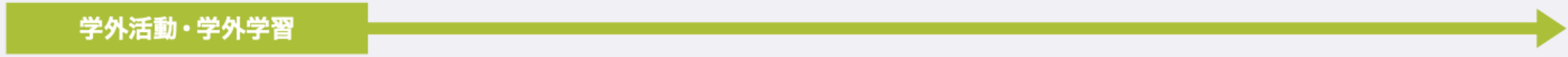
コースの中で、小学校に基盤をおいた学校教育を担う教員として、必要な知識・技能を身に付け、実践において活用できる能力

領域選択後は、専門領域に分かれて理論を学びます。

1年次
小教専
基礎演習 (春学期)
教育に関する文献の講読と討論を通して、今日的な教育課題に対する考察を深めます。

スクールデー実践
実際の授業で子供たちの質問に答えたり、体験学習に関わったり、学校現場での経験を通して教職についての学びを深めます。

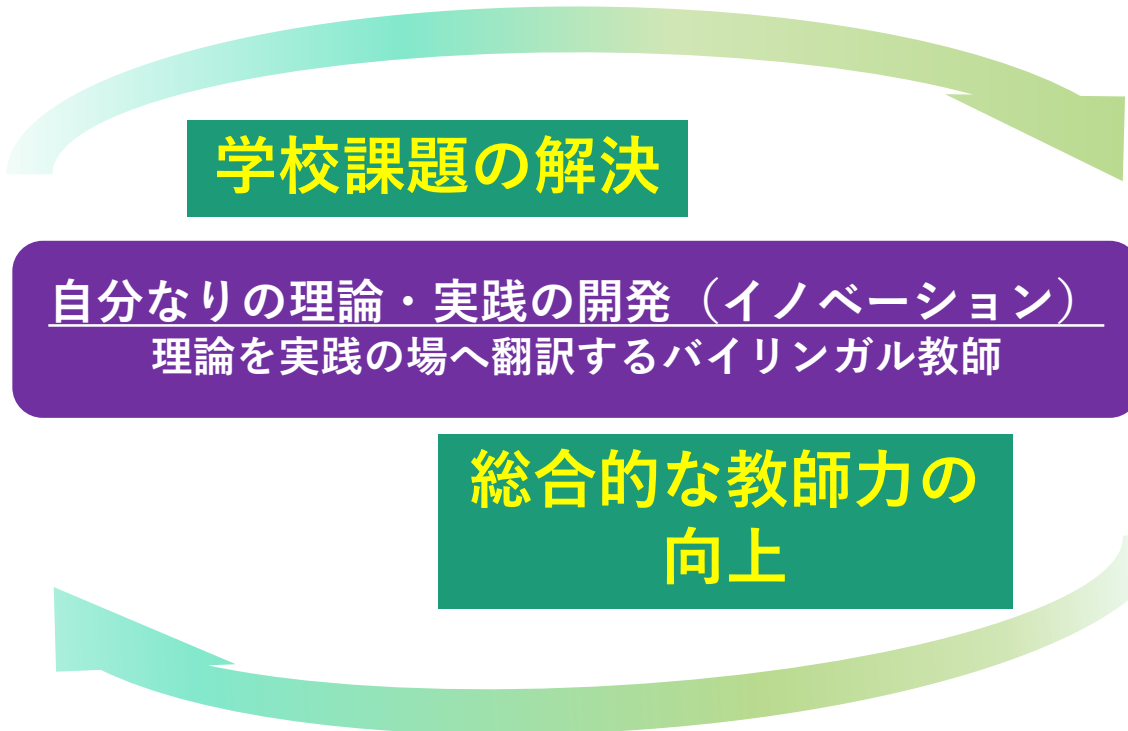
入学後、さまざまな領域の内容に触れながら専門とする領域を選択します。



学部から教職大学院への発展

学校課題の解決を「理論と実践の往還・融合」
によって実現できる力を強化

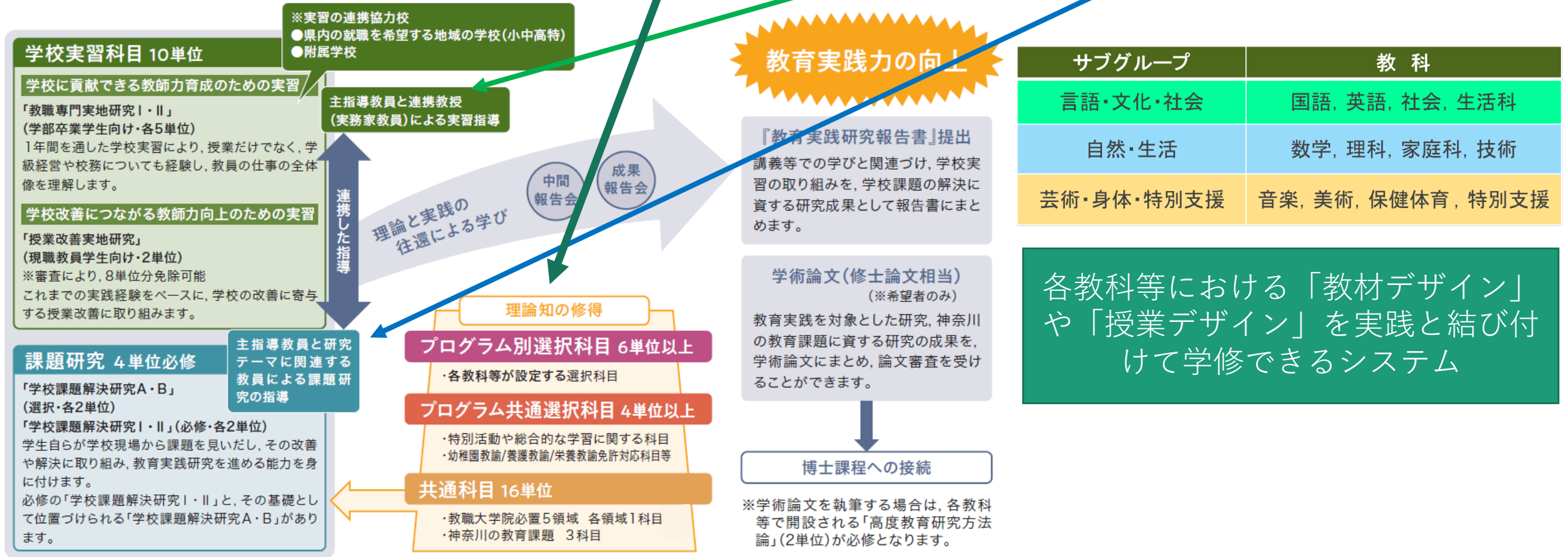
【理論】
教育心理学，学習科学等



【実践】
実際の教育現場
での実践

科目別履修単位数	共通科目	プログラム 共通選択科目	プログラム別 選択科目	学校実習	課題研究	計
教科教育プログラム・ 特別支援教育プログラム	16	4以上	6以上	10 (審査により8 単位免除)	4以上	46 以上

教科教育・特別支援教育プログラム





ターム・時限		月	火	水	木	金	不定期・集中 開講科目	
1 年 次	第1ターム	1・2限		社会に開かれた教育課程とカリキュラムマネジメント	授業デザインの理論と実践		人間社会と科学 教職専門 実地研究Ⅰ	
		3・4限				学校課題解決研究A		
		6・7限						
	第2ターム	1・2限	子どもの理解と支援	専門職としての教員の職能発達	EdTechを活用した授業の方法			
		3・4限	理科の授業デザイン論と実践					学校課題解決研究A
		6・7限						
	第3ターム		インクルーシブ教育の理論と課題（集中講義）	「貧困・格差」削減のための教育実践（集中講義）	「教育デザイン」の理論と実践（集中講義）			
	第4ターム	1・2限	学級経営・学級指導の理論と実践					
		3・4限						学校課題解決研究B
		6・7限	1年次からグループ毎に学校現場の課題について学びます。運用上、木曜日3、4限に設定（自然・生活G）					
	第5ターム	1・2限						
		3・4限						学校課題解決研究B
6・7限								
第6ターム								

学部生のインターシップ科目（教育実地研究）と同曜日（教職大学院生の実習校へ学部生が訪問）

1年次からグループ毎に学校現場の課題について学びます。運用上、木曜日3、4限に設定（自然・生活G）

科目区分
学校実習科目
課題研究
プログラム別選択科目
プログラム共通選択科目
共通科目（必修）

【1年次】

教科教育・特別支援教育プログラム

学部卒業学生の履修モデル（例：自然生活グループ）

ターム・時限		月	火	水	木	金	不定期・集中 開講科目					
2 年 次	第1ターム	1・2限					教職専門実地研究Ⅱ					
		3・4限			学校課題解決研究Ⅰ							
		6・7限										
	第2ターム	1・2限				教育改革の現状と神奈川の教育事情		学校課題解決研究Ⅰ				
		3・4限	数学の教材デザイン論と実践			学校課題解決研究Ⅰ						
		6・7限										
	第3ターム		教職大学院研究成果報告会（中間報告）									
	第4ターム	1・2限							学校課題解決研究Ⅱ			
		3・4限				学校課題解決研究Ⅱ						
		6・7限										
	第5ターム	1・2限	グローバル化に対応した教育							学校課題解決研究Ⅱ		
		3・4限				学校課題解決研究Ⅱ						
		6・7限										
	第6ターム		教職大学院研究成果報告会（最終報告）									

グループ毎に学校現場の課題について学びます。
運用上、木曜日3、4限に設定（自然・生活G）

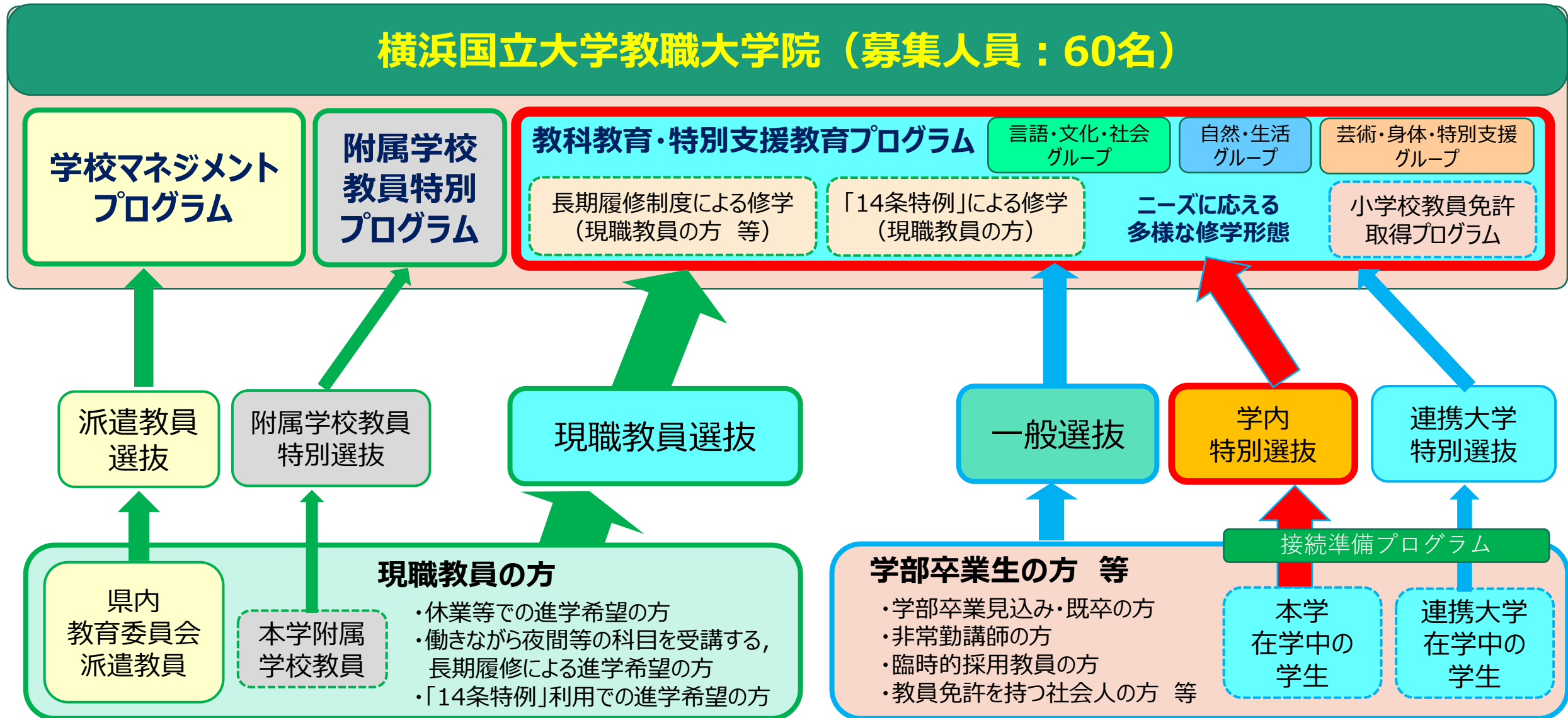
科目区分
学校実習科目
課題研究
プログラム別選択科目
プログラム共通選択科目
共通科目（必修）

【2年次】

本モデルの履修科目と単位数	
共通科目	16単位
プログラム共通選択科目	6単位
プログラム別選択科目	6単位
課題研究	8単位
学校実習科目	10単位
合計修得単位	46単位

修了要件は46単位です。

横浜国立大学教職大学院 プログラムと選抜制度



入試概要 (2021年度実施)

試験日：A日程 2021年9月19日
 B日程 2021年11月13日
 C日程 2022年2月6日

専攻	入学定員	募集人員 (計60名)			選抜区分 *はA日程のみ実施
		A日程	B日程	C日程	
高度教職実践専攻	60名	学校マネジメントプログラム			派遣教員選抜 (県内教育委員会による特別推薦派遣のみ)
		教科教育・特別支援教育プログラム			一般選抜
		サブグループ	<u>言語・文化・社会グループ</u> (国語・英語・社会・生活科)		現職教員選抜 (特別推薦派遣以外の教育委員会による派遣等)
			<u>自然・生活グループ</u> (数学・理科・家庭科・技術)		
			<u>芸術・身体・特別支援グループ</u> (音楽・美術・保健体育・特別支援)		
附属学校教員特別プログラム			* 附属学校教員特別選抜		

2022年度横浜国立大学教職大学院入学者内訳（入学定員60名）

赤枠：うち1名飛び入学

個数 / 氏名 プログラム	サブグループ	選抜区分	教科											-	総計			
			国語	英語	社会	数学	理科	家庭科	技術	音楽	美術	保体	特支					
☐学校マネジメント	☐-	派遣教員															17	17
	- 集計																17	17
学校マネジメント 集計																	17	17
☐教科教育・特別支援教育	☐言語・文化・社会	一般	1	2	4													7
		現職教員	1	1	1													3
		学内特別		1														1
		連携大学特別		1	1													2
	言語・文化・社会 集計		2	5	6													13
	☐自然・生活	一般				4	4	1										9
		現職教員				1												1
		学内特別				5	1											6
		連携大学特別					1											1
	自然・生活 集計					10	6	1										17
	☐芸術・身体・特別支援	一般									3			5	1			9
		現職教員									1		1	1	1			4
		学内特別													1			1
	芸術・身体・特別支援 集計										4		1	6	3			14
教科教育・特別支援教育 集計			2	5	6	10	6	1			4		1	6	3			44
☐附属学校教員特別	☐言語・文化・社会	附属学校教員特別			1													1
	言語・文化・社会 集計				1													1
	☐自然・生活	附属学校教員特別						1			1							2
	自然・生活 集計							1			1							2
附属学校教員特別 集計					1		1			1								3
総計			2	5	7	10	7	1		1	4	1	6	3	17	64		

(参考) 入学志願者100名、受験者95名、合格者67名

入学者のうち本学出身者20名（うち現職教員学生3名）

学内特別選抜 概要（A日程のみ実施）

- ・学内特別選抜（教育学部，飛び入学を含む）10名程度（他学部3名程度）
- ・書類審査（成績，推薦書，面接調査書，学校課題研究計画書）
- ・口述試験（模擬対応，模擬授業を含む）

入学前の教職大学院接続準備プログラムの提供

指導教員の推薦→面接→接続準備プログラム実施→学部長推薦→特別選抜

・成績要件：3年次修了時において，以下のいずれかの基準を満たす者。

①所属学科（これに相当するものを含む）での成績が上位1/3以内，又は総修得単位数に占める評価点80点以上の評価が1/2以上である者又はこれらに準じる者。

②教育に関する優れた活動実績を有している者。

・飛び入学を考えている者は大学院係に相談に来てください。

・注意点 学部と合わせて5年で教職修士の学位が取れる 中退した場合，学士の学位が取れない（高卒になる）など。ただし，大学院入学後に大学改革支援・学位授与機構に申請し，学士の学位を取得できる制度があります。

学内特別選抜（出願資格・要件）

以下の要件を全て満たす者。

(1) 出願時点において当該者にかかる入学者選抜実施年度の3月31日までに卒業見込みの者又は教職大学院で別途定める飛び入学の要件を満たす者。

(2) 卒業時まで教員免許状（一種）を取得見込みである者。

(3) 児童・生徒の育成に熱意を持ち、神奈川県内の小・中・高・特別支援学校等の教員になる強い意欲を持つ者。

(4) 3年次修了時において、以下のいずれかの基準を満たす者。飛び入学希望者は教職大学院で別途定める要件を満たす者。

①所属学科（これに相当するものを含む）での成績が上位1/3以内、又は総修得単位数に占める評価点80点以上の評価が1/2以上である者又はこれらに準じる者。

②教育に関する優れた活動実績を有している者。

(5) 所属学部長が次の①及び②について、人物及び能力等に責任を持って推薦できる者。

①学業成績が優秀で教員となる強い意欲及びそれにふさわしい資質・適性を持つ者として認めることができる者。

②児童・生徒の育成に熱意を持って当たることができると認められる者。

(6) 合格した際には、教職大学院に入学することを確約できる者。

「飛び入学」の制度について（学内での案内）

- 出願資格のなかの「学校教育法第83条に定める大学に3年以上（休学期間を除く）在学した者であって、本学教職大学院（教育学研究科高度教職実践専攻）の定める単位を優秀な成績で修得したと認められた者」とはどのような資格でしょうか。

これは、いわゆる「飛び入学」の制度です。学部2年次修了時の成績が極めて優秀な学生は、**3年次に本学教職大学院の入学試験を受験して大学院に飛び入学**することができます。対象者となる者の要件は以下のとおりです。

- (1) 神奈川県内の教員になることを強く志望していること
- (2) 2年次修了時の総修得単位の9/10以上が評価点80点以上であること
- (3) 3年次修了時まで4年次に設定されている必修科目を除くすべての必修科目の単位、かつ教員免許状（一種）に必要なすべての科目の単位を修得していること。

この制度により、出願しようとする場合は、あらかじめ教育学系大学院係へ「入学資格審査申請用」用紙を必要書類とともに提出し、事前に入学資格審査を行う必要があります。そのため、必ず本学教育学系大学院係に事前に相談をしてください。

ただし、飛び入学の場合は学部卒業扱いにならないため、学士の学位を有することが条件となる各種国家試験資格等の取得ができない場合があるので注意が必要です。

なお、大学院入学後に大学改革支援・学位授与機構に申請し、審査及び試験に合格した者は、学士の学位を取得することができます。

教員免許状については、教職大学院の合格によって、学士の学位を有することと同等以上の資格を有することとなり、3年次までの修得単位によって教員免許状（一種）が取得可能となります。免許状の取得等に関わることは、できるだけ早い時期に本学教育学系大学院係に相談してください。

2021年度 学内特別選抜の流れ

日	内容	備考
6月23日	学内学生向け接続準備プログラム説明会 特別選抜受験希望者は必ず指導教員にもその旨連絡 *差し支えがある場合は教育系大学院係に連絡してください。	Zoomによる遠隔説明会
7月14日	接続準備プログラム申込締切 申込書は指導教員がサインし、本人が教育系大学院係に提出	16:00締切
7月21日	学内特別選抜（接続準備プログラム）希望者面接	16:00開始
7月25日	特別選抜進学希望者向けワークショップへの参加	13:00～15:00
8月25日	教職大学院学校課題解決研究中間報告会への参加	午後2時間程度（対面形式を検討中）
	第3ターム以降の教職大学院開設科目を受講 10単位を上限として単位認定	
9月19日	教職大学院入学者選抜試験（A日程）試験日	（20日：予備日）
2月19日	教職大学院学校課題解決研究成果報告会への参加	

接続準備プログラムの内容

1) 教職大学院の授業を先行体験するプログラム

- 希望者は教職大学院の授業見学第2ターム以降(不定期・集中科目を除く, 希望授業を選択)

2) 教職大学院の教育研究活動の実際を知るプログラム

- 教職大学院学校課題解決研究中間報告会(8月25日午後2時間程度)・成果報告会(2月19日)への参加

3) 教職大学院の教育活動を先行体験し, 必要となる能力を体感するプログラム

- 学内特別選抜進学希望者, 連携大学特別選抜進学希望者向けワークショップへの参加 7月25日(日) 13:00~15:00

4) 教職大学院開設科目を先行受講するプログラム

第3ターム以降の教職大学院開設科目を受講 10単位を上限として単位認定

- 受講した科目は教職大学院にて指定する科目の中から10単位を上限とし, 教職大学院への入学後, 申請により単位認定を行うことができる。

- * 卒業時に取得する免許以外の校種・教科等の学部教職専門科目の一部履修を認める (他学部)
- ・ 秋学期(10月)からの授業

学内特別選抜による横浜国立大学 教職大学院進学実績

本学教職大学院 定員60名

- 2021年4月 7名（全員教育学部）（参考：全入学者60名）
- 2022年4月 8名（教育学部7名（うち飛び入学1名），都市科学部1名）（参考：全入学者64名）

■学内特別選抜・飛び入学制度の周知方法について

- ・教育学部生には，1年次より各学年のオリエンテーション実施時に学内特別選抜・飛び入学制度を含む教職大学院の説明を行っている。
- ・4月～6月に複数回教職大学院の説明会を行っている。主な参加者は3・4年次生。
- ・教職課程を有する他学部（理工学部・都市科学部）には教務担当部署を通じた説明会開催の周知と，4年次の教育実習事前指導時に教職大学院について説明する時間を設けている。

学内特別選抜進学者の資質・向上

- ・先取り履修（10単位まで）

⇒進学後の実習時間の確保，実践研究の深まりを生み出している

- ・学校実習（週1回，通年）

1年目（または2年目）：附属学校にて実習

⇒学部生の教育実習の指導補助，学部インターンシップ科目（教育実地研究）の指導補助を通じたリーダーシップの育成

学校研究への関わりと自らの実践研究の推進（イノベーティブな教育研究への関わり）

（理論と実践の往還・融合の基礎固め）

2年目（または1年目）：連携協力校にて実習

⇒附属学校での実践研究の成果を地域の連携協力校に還元

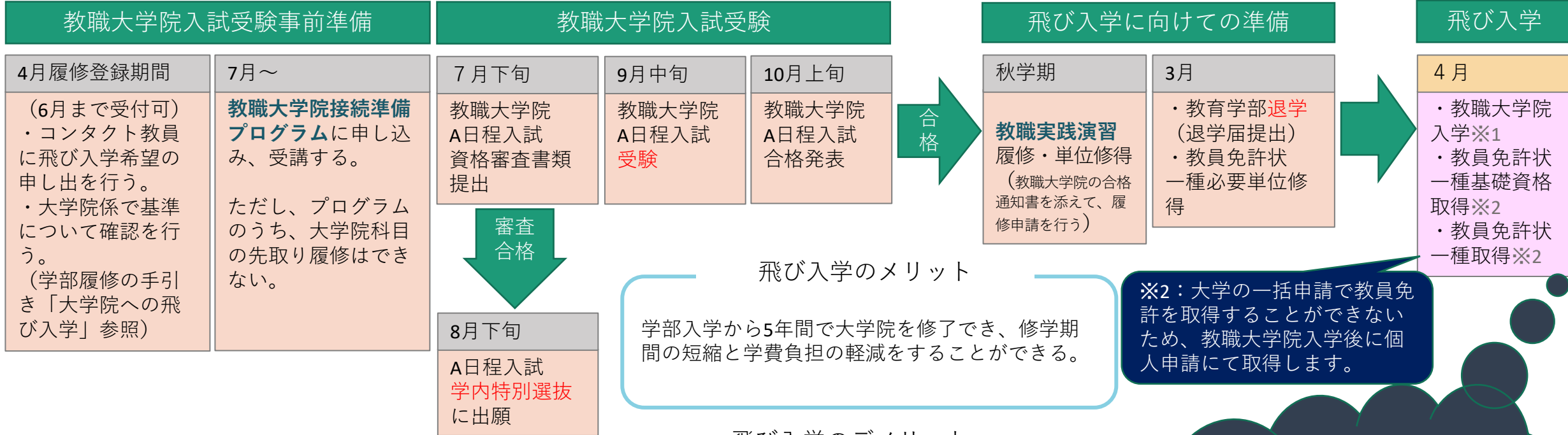
（理論と実践の往還・融合を深める）

以下， 參考資料

横浜国立大学教職大学院 飛び入学の手順

3年次

3年次終了



飛び入学のメリット

学部入学から5年間で大学院を修了でき、修学期間の短縮と学費負担の軽減をすることができる。

飛び入学のデメリット

・学部退学となるため、学士の学位を有することが条件となる各種国家試験資格等の取得ができない場合がある。

(ただし、自身の責任において大学院2年次以降に大学改革支援・学位授与機構に申請し、審査及び試験に合格した場合は、機構授与による学士の学位を取得することができます。)

・卒業研究を履修せずに退学となるため、中・高免許取得のための単位が足りない場合がある。その場合は自身の責任において教職大学院入学後に学部科目を履修し、個人申請にて中・高免許を取得する。

※2：大学の一括申請で教員免許を取得することができないため、教職大学院入学後に個人申請にて取得します。

※1：飛び入学のために未履修となった学部卒業研究の内容を補うため、教職大学院に入学後、以下の研究科目を履修し、修了時に修士論文相当の学術論文を提出します。

(1年次) 「学校課題解決研究A/B」
学校課題の解決に資する研究科目

(2年次) 「高度教育研究方法論」
修士論文相当の学術論文を執筆するための科目。

飛び入学の対象者

以下全ての要件を満たす者。

- ①神奈川県内の教員になることを強く志望していること。
- ②2年次修了時の総修得単位の9/10以上が評価点80点以上であること。
- ③3年次修了時まで4年次に設定されている必修科目を除くすべての必修科目の単位、かつ教員免許状(一種)に必要なすべての科目の単位を修得していること。